

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	サンクスラボ・アフタースクール大村		
○保護者評価実施期間	R8年1月6日		～ R8年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	R8年1月6日		～ R8年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	R8年2月6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者との連携・相談支援の充実	・送迎時のこまめな声掛けにより、相談しやすい雰囲気づくり。 ・欠席時の理由から相談支援に繋げる。	・年3回、また必要に応じて家庭連携支援を行い、より充実した相談支援の仕組み作りを行う。
2	支援計画に基づいた適切な支援	・児童向けに「振り返りシート」を作り、支援計画書の内容を児童向けに落とし込んでいる。そこで児童と職員とで目標の共有と振り返りを行い、目標を意識した支援・行動に繋がっている。 ・定期定期に療育会議を行い、計画と実際の支援にズレが出ないように確認している。	・モニタリング期間より短期的に療育会議を実施し、個々の課題や目標についての見直しを行い支援内容の統一を図る。 ・子どもの発達や状況に応じて支援内容(集団活動・個別活動)を話し合い、調整していく。
3	Instagramや新聞の配布による活動内容の発信。	・普段の活動や、外出活動の様子などをSNSを通じて発信 ・特筆事項や児童の要望があればLINEでの写真や様子の共有	・たくさんの笑顔や、楽しんでいる様子をより発信できるよう新聞の内容やSNSの利用を強化していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流・保護者交流の機会や参加者が少ない。	・保護者への交流の機会の周知不足 ・地域交流については実施頻度が少なかった	・どのような企画が参加しやすいか事前にアンケートを検討していく。(5月にアンケート配布予定) ・実施報告をその都度発信(SNSや新聞などで)
2	非常時対応についての周知。	・訓練は実施しているが、周知不足 ・悪天候時や感染症についての説明不足	・どのような訓練をしたか、実施後に報告を行う。(連絡帳やSNS) ・悪天候時(警報時)や感染症に罹患した場合の対応(家族の罹患や本人の罹患時出欠について)を定期的に文章でお伝えする。(夏:悪天候による警報時の対応・冬:感染症罹患時の対応)
3	設備面(活動スペース・経年劣化)やバリアフリー面の充実。	・建物構造の制約 ・長期使用による劣化	・移転に伴い、レイアウトや活動の内容の見直しを行う。 ・安全面や動線についての構造化を行う。